



今月のトーク/monthly talk

I-FLAT 撮影：上田宏

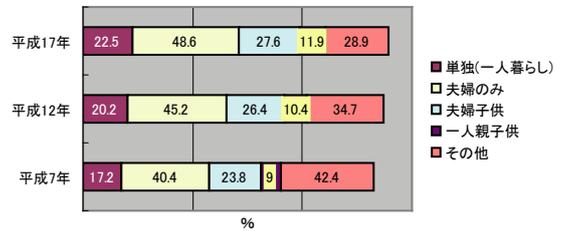
家族力

今月ご紹介する「I-FLAT」は、4世代の家族が住むSOHO住宅です。設計者ご夫妻とお子さん、ご両親、弟さんがそれぞれ自宅で仕事をしながら、年老いた祖父母、場合によってはその他の親戚とも暮らしているというこの多世帯住宅は、これからの高齢化社会においては理想的なスタイルと言えるでしょう。設計者であり、建て主の松尾さんにプランの説明をうかがっていると、誰か一人の責任で介護を行うのではなく皆で協力して生活をしていくのだという意思が感じられました。

平成17年度の「国勢調査」によると65歳以上の親族のいる一般世帯数は全国で1798万世帯、平成12年と比べると、294万世帯(19.5%)増となっています。一般世帯に占める割合は、平成7年の29.1%から12年には32.2%、17年には37.3%となっており、急速な高齢化の進行を反映しています。(一般世帯とは施設・病院に収容されている人の数を除いた世帯数になります。)

なかでも一人暮らしのお年寄り(65歳以上)は、平成7年には220万人、平成12年には303万人だったものが、17年には405万人となっています。そして一人暮らしの世帯が65歳以上の人口に占める割合は男性9.9%、女性18.9%、実に高齢男性の10人に1人、高齢女性の5人に1人が一人暮らしです。ある時期までは子供の世話になるまい、仕事の関係で親の世話をしたくてもできないという方も、実はもっと積極的に家族が関わりあうことで、暮らしをより良い方向に導くことが出来るのと思うことはありませんか。過保護や過干渉と言われることを恐れて一番大切な人たちとのコミュニケーションを怠っていないか、仕事を言い訳に自分が果たすべき家族としての責任を回避していないか、立ち止まって考える機会を失っていないでしょうか。

65歳以上親族のいる一般世帯の家族類型別割合(%)の推移
— 全国(平成7年～17年)総務省統計局



家が狭くても、バリアフリー仕様でなくても、とりえず一緒にそこに住む、そして若い世代に老いる過程を見せる、それは上の世代の大事な役目だと思います。また、進歩は幼い子供だけの特権ではありません。年をとっても目標に向かって努力を積み重ねることが若さと健康維持に不可欠です。若い世代はやがて身体や心が衰える年代に備えて、折々に何をしておくべきかを感じ取る必要があります。家族がともに暮らしていく上では、配慮しなくてはならないことも多いでしょうが「時間と空間」を共有してこそ「家族」です。

どこかの組織に属さなければ出来ない仕事のしかたを離れ、自宅で個人の仕事をしながら、互いの打ち込んでいるものを尊重できる。「I-FLAT」は、そんな「家族力」を私たちに教えてくれた気がしました。

I - FLAT



桜を楽しむ、家族のためのSOHO住宅

敷地は、桜並木の美しい川沿いの遊歩道に隣接している。春の花、初夏の緑や真夏の日陰の涼しさ、秋の紅葉など、この桜を堪能しないわけにはいかない。建物は鉄骨ALC造で、川に面する北東側に開口部を設けた構造である。建物入口前の南側には大きな開口部をとらないでほしいとの近隣からの与件もあった。

「団塊世代の両親、若い娘夫婦とその子供、独身の息子、そして、時折地方から訪れる年老いた祖父母」という4世帯の家族構成は、将来にわたり固定的な関係として描かれるよりも、今後もいかようにも変化する関係としてフレキシブルに対応できるプランを考える必要があった。また、家族それぞれが自宅でできる自分の仕事を持っている。会社勤めの父親はやがて迎える定年を機にこれまでの働き方を変えるかもしれない。その妻は革工芸品の作家であり、娘夫婦は現在それぞれ別の事務所で建築設計の仕事を行っているが、将来は独立して夫婦で事務所を構える予定でいる。子供もまだ小さく、自分たちの子育てを夫婦2人でシェアする上でも、職住接近はベストの選択だと考えている。その弟は音楽関係の仕事をしており、自宅でのミキシングスペースを必要としている。このような家族の仕事スペースを1階にとり、2階を若い夫婦とその弟、3階を両親、4階を祖父母の住居とした。また長期のライフサイクルを見据えて、2階の2住戸は賃貸として貸し出せる計画としている。各住戸へのアクセスは、外部動線(下足)として建物中央を貫く直階段と内部動線(上足)としてのエレベーターが用意されている。このエレベーターがあることによって、一番環境の良い4階に高齢者の住居を配置することが可能になった。

開口部に関しては、1階は半地下となっていること、壁面が上部階より後退していることなどによって、開放的でありながら落ちついたスペースとなっている。2階は外側にエキスパンドメタルのフェンスを設け、その内側に外廊下において直接外部から覗かれないようにしている。3階は、川に向かっ

て大きなオープンデッキを張り出させ、家族全員が集まれるパーティースペースとした。さらに4階は足元から天井までのフィックス窓にして、部屋から思う存分桜を眺めることができるようにしている。下層から上層に行くにつれ、開口部は大きくなっていく。

室内は、白を基調にシンプルな佇まいになっている。3階の床は、和式の生活を好む両親のために桐のフローリングにしている。桐は空隙性があり、柔らかく断熱性があるので、梅雨時も結露せず冬も暖かい。また一部トップライトを設けて明るさを確保している。家族ではあるが生活時間帯が多様であることを考慮して、下層階の床は遮音性の高いコンクリートのスラブとしている。最上階の屋根だけはALCとし、重さを軽減して構造の上から配慮している。外壁は、ALCにエクセルジョイントを金ゴテで仕上げ、さらにランデックスコートの色調を調整しながら塗布している。レベルが少し低くなっている1階のエントランス部分は、四角の躯体からコンクリート造で張り出させ、黒のペンキを塗ってアクセントとしている。反対側の西側キャンティ部分は、車2台を止められる駐車スペースとし、そこから裏口を通過して建物内部へ進む共用通路は、緩やかなスロープにして車椅子や音響機器のスムーズな移動に対応させている。(松尾宙氏談)



所在地：板橋区
用途：専用住宅+事務所、アトリエ、スタジオ
構造：S造+一部RC造
規模：地上4階
設計：松尾宙(石田敏明建築設計事務所在籍)+松尾由希(フリー)
竣工：2007年3月
撮影：上田宏

①3階テラス外観。室内から連続したレベルで張り出したデッキから楽しむ桜はボリューム満点。②2階住戸。エキスパンドメタルを通して、風も風景も取り込む③遊歩道側外観④2階通路⑤3階住戸。トップライトが明るさを演出する。桐の床がやさしい⑥4階住戸。足元に広がる景色を部屋の中から直接楽しめる。

メゾン西蒲田



①外観。階段室をアクセントカラーにし、各階の共用廊下部分は外壁との間がオープンな通風のよい構造になっている。②線路側から見た建物。「両側をビルに挟まれ、特に電車の通過時の足場設置、解体には気を遣った」と施工担当者。「思ったほど騒音はない」という。③近くの熊野神社と隣接する蓮華寺。桜のきれいな境内は近所の人々の憩いの場である。

明るく開放的な賃貸マンション

東急池上線蓮沼駅徒歩3分、線路際にすっきりとした外観の賃貸マンションが建ち上がった。建物は採光、通風もよく、近くには蓮華寺というお寺もあり、緑と落ち着いた閑静な街並が広がる。昔ながらの商店街には自転車の人々が行きかい、一つ隣の駅は複数の鉄道が連絡している蒲田駅である。生活のしやすさも居住者にはありがたいことだろう。



所在地：太田区
用途：店舗+共同住宅
構造：RC造
規模：地上5階
設計：上村博之/一級建築士事務所アーケビジョン
竣工：2007年3月

さる平成19年4月9日、渋谷商工会館において例年通り「第6回安全大会」を開催いたしました。

株式会社辰と協力業者の皆様により構成される「辰安全衛生協力会」では、労働災害防止と良好な工事現場管理を目標に、毎月現場の安全パトロール、時宜に応じた講習会などを通じ、労働災害の防止に努めています。さらに年に一度の「辰安全大会」にお

いて、協力業者の皆様、辰全社員の参加の下、前年度の活動報告や安全衛生に功績のあった協力業者、現場所長の表彰を行い、現場の更なる安全管理の徹底を図っています。議事進行に基づき、昨年度の活動報告、会計監査報告、新年度の活動計画を全会一致で承認いただきました。



富岡陸男 安全衛生協力会会長
(トミヨシ商会社長)

<新年度の役員>

新年度の役員は、昨年に引き続き下記の方々の留任となりました。

- 会 長 富岡陸男 (株)トミヨシ商会社長
- 副会長 金澤和夫 (株)協力電業社社長
- 監 査 大熊潤一 (株)大熊鉄筋社長

さらに今年は、新しく若い世代の参加も積極的に行っていただけのよう「幹事」の役職を設け、下記のお二方に就任いただくことになりました。

- 幹 事 佐藤大 (株)小松川社長
- 幹 事 小関邦昭 (株)小関工務店取締役

<田中好文(株)ZENホールディングス代表取締役挨拶(要旨)>

グループ内の数ある会社の中で、辰は特色ある施工会社として地位を確立している。その特色を生かし、これからも売上50億、100億をめざしてがんばってほしい。

<森村和男 辰代表取締役 挨拶>

「昨年度の弊社の売上は28億円と低迷し(前年度は34億円。経常利益で一部現場の欠損が影響)、その利益率においてはグループ6社中最下位でありました。

しかし建築専門雑誌などへの掲載現場は12現場を数え、小さいながらも特徴ある建築物の施工を手がける会社としての個性を確立しています。漢詩に「衆星環北辰(シュウセイホクシンヲメグル)」という言葉がありますが、総ての星は北極星を中心に集まってくるという意味です。弊社もその星のごとく中心となってグループ内で力を発揮してまいりたいと考えております。

今年1月、『週刊ダイヤモンド2007 1-20号』の「建設会社経営危険度(健全度)ランキング」という記事におきまして、弊社は、東京都内197社中(売上高31億円以上)15番目の安全度という評価をいただきました。このような評価を反映して、これまでお客様の引き合いは多々ある状況です。堅実な経営を今後も心がけてまいります。

一方、昨年までの7年間は営業活動をほとんど行ってまいりませんでした。昨今お客様より当社に軸足を置いていただく、見積競争において受注価格を下げられる厳しい環境があるのも事実です。これまで特徴ある建築の施工に特化しておりましたが、従来の軸は堅持しつつも、自己主導型の建築受注量の拡大を図り、前身の辰建設の顧客を掘り起こすべく、新たに「開発営業部」を発足させました。親会社ユニホーにて長年「開発営業部」で手腕を発揮した日高の参加を得て、平成21年度は売上45億を目標に動いてまいります。現場の安全管理はもとより目標達成のためにも、皆様の一層のご協力を仰ぎたく、絶大なるお力添えを今後ともお願い申し上げます。」

<今年度の安全スローガン>

恒例の安全標語募集に応募した作品の中から、優秀作品13点が選ばれ、その中から次の最優秀作品が決定しました。

安全は 確かな手順と 再確認

協力会社「(株)エム・ワン」の染谷保子氏の作品です。今年度の年間スローガンとして、協力会全体の目標にしていきたいと思います。

<表彰協力業者>

今年度の安全協力表彰業者は、以下の方々です。

- (有)多田国工務店、(株)大熊鉄筋、(株)小関工務店
- (株)片桐電気、(株)勸工ビルド

この後も、安全現場表彰、情報協力感謝状授与、辰の新人紹介、現状報告などを行い盛会のうちに終了いたしました。



出席者は、90社、130名と盛会でした。



表彰現場
鯨津・村山「松涛の家 Y邸」
岩本・夏井「岡部医院」
讚井「玉川田園調布の家」
弘中「I-FLAT(板橋共同住宅)」
塩「永福町テラス」



安全宣言は、多田浩規氏。
出席者全員でスローガンを発声



情報提供者の方々へ感謝状授与



辰 新入社員紹介(向かって右から)
日高清志開発営業部長、後藤英一開発営業部課長、石井秀耕開発営業部係長、佐藤健一郎工事部主任、藤本美貴 E&D 部員



田中好文
(株)ZENホールディングス代表取締役



森村和男 辰代表取締役



安全スローガン最優秀賞受賞
染谷 保子氏(エム・ワン)



年間表彰業者の代表者



昨年六月二十一日に辰に入社した。なぜ日付まできちんと憶えているかというと、その前日二十日に以前の会社の後処理をやっと終えて入社することができたからだ。

文京区の建設会社には専門学校卒業後十年以上勤めていた。昨春のある日、いつものように中野の現場で仕事をしていたところ、急に下請けの会社の社長から「お宅の会社、つぶれたらしいよ」と聞かされた。あわてて会社に行ってみたら、倒産したという。それまで何の知らせもなかった。工事中の物件の設計事務所所長が急遽他の工務店を探し出し、自分もそのまま個人で契約する形でその施工管理を引き続き請け負うことになった。しかし費用は保険など含めると全体の金額としてはとても足らない。何もかも自分で処理をしなければならず先行きも不安だった。が、三ヶ月後何とか無事仕事を終えることになった。

専門学校時代の同級生Sとは、十五年以上の付き合いだ。Sの勤め先、辰の仕事で以前から見聞きしていたが、自分の会社と比べ面白い仕事をしているとは感じていた。社員を募集しているというので、仕掛工事の最中にSを頼って役員面接を受けた。

者がいる会社が多い。七月一日の工事開始の前に、今までやったことのない「積算」をやることになった。最初は自分にできるのだろうかと思つたが(なんだ、できるじゃないか。)と感じた。正直な感想だ。苦労だがこういうことが身に付くということだ、と思つた。

工事が始まり、あつという間に年末を迎えた。建物自体は難しい部分はないが、敷地は池上線の線路沿いで、両側をびったりと建物に挟まれている。足場を解体するときに問題だと感じていた。



佐藤 健一郎
またこの仕事ができることに感謝

辰への採用が決まった。RC造はそれほど多くはないが施工経験があるので、早速蒲田のマンションの工事を担当することになった。地上五階、七所帯の賃貸マンションである。辰の仕事としては、特に大きくも、疑った意匠のものでもない、ごく普通の仕様の建物である。一から出直しのつもりで出社した。

辰では、現場担当者が積算業務も行う。普通は別に積算担当

一月二十二日(月)から
二十七日(土)

外壁のタイル貼りと内装の仕上げ工事。タイル屋と左官屋、内装屋が同時進行で作業を行う。今回の工事では、七割の職人は、自分が以前の会社にいたときから懇意にしている業者、三割は辰の協力会社として名前を連ねているメンバーだ。一般の賃貸集合住宅の建設ピークより約一ヶ月早かったのが幸いして、他の工事と業者の取り合いにならずにすんだ。助かった。三月オープンを目指す賃貸物件を建てる発注者や設計事務所は、こういう施工側の事情もよく考慮に入れていただくという。今は専門業者の確保が大変なのだ。

一月二十九日(月)

外壁工事が終わった。いよいよシート外し。線路に沿った敷地なので、万が一にも事故がないよう、作業のときに電車の通過時間に配慮する。建物全面に貼られたシートは、普通片面をいっぺんに外していくものだが、四方向を順に林檎の皮を剥くように、上から慎重にシートを外していく。上から建物がその全貌を見せた。こみ上げてくるものがあった。「またこの仕事ができるんだ。」

1973年生まれ 東京都出身
東京工業専門学校建築工学科卒業

平成6年 ㈱大知建設入社
平成18年 同社 倒産により退社

趣味:ドライブ
2児の父

担当した主な物件 (設計者)
・メゾン西蒲田
(アークビジョン一級建築士事務所)

TOPICS/INFORMATION

「(仮称) 吉祥寺東町集合住宅新築工事」

地鎮祭 3月31日

施主住宅+共同住宅 吉祥寺サ
ンロード奥武蔵野八幡宮近くの閑
静な住宅街です。

構造:RC造 地下1階 地上3階
用途:共同住宅
設計:木下道郎/ワークショップ
完成予定:2007年11月30日



「blocco (王子集合住宅)」が

『日経アーキテクチャ』No.845 2007.3-26号』
に掲載されています。

2006年1月竣工した「blocco」(設計:長田直之/ICU)が、「新しいマーケットを開拓する」という特集で紹介されています。企画のタカギプランニングオフィスは5人の建築家のコンペにより長田氏の十字プランを採用、内覧会ではさまざまなパターンのレイアウトや土間づかいが好評でした。ぜひご覧ください。



編集後記

・先月号の「TOPICS/INFORMATION」のコーナーで上棟式のご紹介をさせていただきました「鎌倉御成町新築工事」の設計事務所名を間違えてしまいました。正しくは「綱川建築事務所」様です。お詫びして訂正させていただきます。

・4月9日の「辰安全大会」では、ZENホールディング田中好文代表取締役が、自宅の施工を10数年前に辰の前身である「辰建設」で行ったというエピソードを披露してくださいました。現在外装リフォームを弊社で計画中ですが、これまで快適にお使いくださったということです。今後ともよろしく願いいたします。